

(様式2(1))

事業所名 グループホームひろいの里

目標達成計画

作成日: 令和4年 11月 11日

目標達成計画は、自己評価及び第三者評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	成年後見制度を利用している人も在籍しているため、制度についての理解を深めると共に活用方法について知識を得ておく必要がある。	専門性の向上に向けた意図的OJTの実施	①制度を理解するための勉強会や内部研修を計画的に実施する ②内部研修を開催するにあたり、可能であれば地域包括支援センターに講師派遣を依頼する。 ③研修を通じて、制度への理解を深める。	12ヶ月
2	35	コロナ禍でも地域との繋がりを持ち続けるための取り組みが必要である。特に、災害時における協力体制を維持しておく必要がある。	地域密着型サービス事業として地域とのつながりを維持する	①年2回(9・3月)の避難訓練を実施する。 ②避難訓練を運営推進会議と併せて行い、構成員に評価に参加していただくなど、地域を巻き込んだ訓練の実施方法を模索する。	12ヶ月
3	40	活動の減少により、楽しみとなる機会が減っている。今後も感染症対策を継続しながらの活動を計画・実施する必要がある。	感染症対策を実施しながら行える活動を立案・計画・実施する。	①感染症予防対策の観点から、自身の食事やおやつを自身で作れるような提供方法を考える。 例えば、海苔と酢飯を準備し、自分で具材を乗せ手巻きずしを作る。生地の上にあんこを乗せ、自身で仕上げるなど。 ②三密を避け、感染症対策を講じた上で実施可能な活動から再開する。 (施設内行事、塗り絵や切り絵などの創作活動及び展示など)	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。